

土地改良事業変更計画概要書

事業名：農業用道路整備事業
地区名：柳田峠
所在地：丸森町
事業主体：宮城県

I. 変更理由

本地区は、丸森町の中心部から約3km南方向に位置し、水稻を中心に野菜・果樹・酪農を取り入れた複合経営を成している。

近年は、しいたけ・たけのこ栽培等にも力を入れ、農業経営の安定化を目指しているが生産基盤の立ち遅れや農道整備の不備から農業経営の近代化の大きな障害となっており、地域住民からの早急な農道整備の要望が出されている路線である。

よって本計画路線を整備し、農業生産性の向上と農産物流通の合理化を図るための農道を補完し、農業機械の運行等の農業生産活動、農産物の運搬に供する集落道の整備を行う。この機能保全対策面からの更新整備により、地震・洪水等の災害対策等の強靱化を実施し、もって、農村に安心して住み続けられる条件を整備し、農村の持続性の向上を図ることを目的とする。

今回、事業計画の内容に変更が生じたことにより事業費において10%以上の変動が生じたため計画変更を行うものである。

II. 変更内容

1. 事業費の変更

詳細設計を行った結果、事業費が増額となるもの。

事業費の10%以上の変動 **10.8%**>10% (該当)

変更前	→	変更後	=	増減
1,929,303千円		2,196,203千円		266,900千円(事務的経費除く)

2. 事業量・工法変更による増減の理由 (増減額は自然増除き)

【1. 路床工】

① 地山掘削に伴い出現した転石の破碎・撤去工が増額となるもの。

変更前	→	変更後	増減
—		転石破碎工 V=1,270m ³	V=1,270m ³ 増
			(事業量変更 183,400千円)

【2. 測量試験費】

① 地山掘削に伴い切土法面に出現した転石の安定性や安全性を検討するため、補足設計を追加するもの。

測量試験費	一式増	(工法変更 20,300千円)
-------	-----	-----------------

【3. 用地補償費】

① 残土処理場の変更に伴い、既設電柱の移設が必要となったため、追加するもの。

用地補償費	一式増	(工法変更 5,300千円)
-------	-----	----------------

【4. 事務的経費】

事業費の精査により増額となったもの。	一式増	(工法及び事業量変更 10,100千円)
--------------------	-----	----------------------

* 工法及び事業量変更額については、自然増を除く

3. 事業量の変更

項目	変更前	変更後	増減	備考	
事業量	L= 4,934 m	L= 4,934 m	L= - m		
受益面積	水田	A= 39.0 ha	A= 39.0 ha	A= - ha	
	畑	A= 77.0 ha	A= 77.0 ha	A= - ha	
	計	A= 116.0 ha	A= 116.0 ha	A= - ha	

4. 事業費の変更 (1期+2期)

(単位：千円)

工種	変更前		変更後		増減	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
純工事費		1,558,438		1,799,038		240,600
道路工	4,934 m	625,755	4,934 m	827,155	- m	201,400
舗装工	4,934 m	89,202	4,934 m	92,902	- m	3,700
橋梁工	-	-	-	-	-	-
付帯工	一式	843,481	一式	878,981	一式	35,500
測量試験費	一式	246,895	一式	267,495	一式	20,600
用地補償費	一式	123,970	一式	129,670	一式	5,700
その他経費小計		370,865		397,165		26,300
事業費合計		1,929,303		2,196,203		266,900
事務的経費	一式	119,157	一式	132,057	一式	12,900
総事業費		2,048,460		2,328,260		279,800

5. その他

(1) 工事予定期間

変更前				変更後				備考
着手	平成	5	年度	着手	平成	5	年度	
完了	令和	9	年度	完了	令和	10	年度	

(2) 事業費の変動率

$$C = \frac{\text{変更後事業費} - (\text{変更前確定総事業費} + \text{自然増額} + \text{請負差額} + \text{コスト縮減})}{\text{変更前確定総事業費}} \times 100$$

$$= \frac{2,196,203 - (1,929,303 + 57,900 + - + -)}{1,929,303} \times 100$$

(単位：千円)

$$= 10.8 \%$$

自然増額： 57,900 千円
 請負差額： - 千円
 コスト縮減額： - 千円

※上記変動率は、事務的経費を除いた変動率

目 次

第一章	目 的	的
第二章	地 域 の 所 在 及 び	現 況
第三章	基 本 計 画	画
第四章	工 事 又 は 管 理 の 要 領	領
第五章	換 地 計 画 の 要 領	領
第六章	費 用 の 概 算	算
第七章	効 果 の 概 算	用
第八章	他 の 事 業 と の 関 係	図
第九章	計 画 概 要	

第一章 目 的

本計画地区は、丸森町の中心部から約3 km南西方向にあり、阿武隈溪谷県立自然公園の阿武隈地区、夫婦岩地区、内川、岩岳地区のほぼ中心に位置し、水稻を基幹作物として野菜・果樹・酪農を取り入れた複合経営がなされている農山村地域である。

県内一の生産量を誇るたけのこと併せて、近年は特にしいたけ・ころ柿（干し柿）等の地域特産品の栽培に積極的に取り組んでおり地区内でも角田・丸森地区公社営畜産建設事業による草地造成・果樹団地整備の要望が出されている中で、農産物流通体系の確立・生産の拡大・農業の近代化安定を目指すためにも、幹線農道の整備が急務となっている。将来においては、地域の持つ豊富な資源を基に観光に根ざした農産物等の地場産品の消費拡大・産業振興に寄与する重要不可欠な路線として本路線は位置付けられ、町の最大の課題である過疎化を阻止する手段として、本農道の地域振興に果たす役割が大きく期待されている。

第二章 地域の所在および現況

第1節 地 域

宮城県伊具郡丸森町

第2節 地 積

現況地目 市町村名	田	畑	小 計	その他	計	備 考
	ha	ha	ha	ha	ha	
丸 森 町	39.0	77.0	116.0	-	116.0	
計	39.0	77.0	116.0	-	116.0	

第3節 現 況

第1項 地 形

本地区は、丸森山地の中腹に開けた農地であり、標高は TP159.5m ~ TP378.3mの間にあり、地形は東西に1/10~1/300の傾斜を呈している緩・急勾配が大きい地形である。

第2項 地 質, 土 壤

本地区の地質は、白壺系花崗閃線岩類からなり、土壌は I 83 (黄褐色土壌・壤土マンガン型) からなっている。

土 壤 状 況							
番 号	I83	畑地					計
土壌統区名	黄褐色土壌 壤土マンガン型	小筆甫統					-
面 積 (ha)	39.0	77.0					116.0
地形・傾斜	1/20~1/500	1/10~1/300					-
乾 湿	乾	乾					-

第3項 一般気象

観 測 所 名	丸 森 観 測 所		自 平成 16 年 ~ 至 平成 25 年	
	かんがい期5~8月	非かんがい期9~4月	計又は平均	備 考
平 均 気 温	20.5℃	8.0℃	12.1℃	
降 水 量	550.3mm	755.5mm	1,305.8mm	
根 雪 期 間	無 霜 期 間	最 多 風 向	最 大 風 速	積 算 温 度
-	-	W	-	-

第4項 特殊気象

単位：雨量：mm 旱天日数：日

観 測 所 名	丸 森 観 測 所									
自 昭和 27 年	第 一 位		第 二 位		第 三 位		第 四 位		第 五 位	
至 平成 25 年	数 量	年 月 日	数 量	年 月 日	数 量	年 月 日	数 量	年 月 日	数 量	年 月 日
最大日雨量(mm)	293	S33.9.26	230	S61.8.5	177	H23.9.21	169	H11.4.25	168	S46.8.31
2 日 連 続 量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 日 連 続 量	330	S33.9.24	328	S33.9.25	303	S61.8.4	303	S61.8.3	293	S33.9.26
最 大 連 続 量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最 大 連 続 旱 天 日 数	69	S40.2.3	62	H12.1.14	57	S46.10.31	56	S48.11.6	56	H6.11.1
積 雪 量	-		最大凍結深		46cm					

第五章 換地計画の要領

第1節 換地計画樹立の必要性

該当なしに付き省略

第2節 換地計画樹立の基本方針

(1) 徒前地の地積の基準

該当なしに付き省略

(2) 農用地集団化の方法

該当なしに付き省略

区分	区分 地帯別・グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置設定	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い

(3) 非農用地の換地方針

該当なしに付き省略

換地区	用途	非農用地区域の 位置	面積 (㎡)	換地の手法	換地 取得予定者
	計				

(4) 清算の方法

比例地積清算方式による。

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認にかかる事項

該当なしに付き省略

(単位 : ha)

区分	公用公共用地				一般国有地	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
計						

第六章 費用の概算

	(2,048,460)		
	(2,328,260)		() は事務的経費を含む
	1,929,303		
一金	2,196,203	千円也	

第七章 効 用

項 目 区 分	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額 （千円）	備 考
品質向上効果	2,359 2,558	2,359 2,558	R5年度単価 R7年度単価
維持管理費節減効果	△1,520 △1,723	- -	
営農に係る走行経費 節 減 効 果	137,459 138,376	- -	
一般交通等経費節減効果	1,496 1,610	- -	
計	139,794 140,821	2,359 2,558	

(参考) 総費用額 4,957 百万円
総便益額 8,789 百万円

(参考) 総費用額 5,868 百万円
総便益額 9,647 百万円

第八章 他の事業との関係

該当なしに付き省略

項 目 区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	備 考

第九章 計画概要図

別 紙 参 照